令和5年度柳井市立柳井中学校グランドデザイン

山口県

未来を拓くたくましい 「やまぐちっ子」の育成

心豊かでたくましい生徒の育成 将来の夢や希望を持ち 目標の実現に向けて 意欲的に努力し続ける 生徒の育成~

しらかベネット ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子

柳井市 愛、夢、志 をはぐくむ 教育

🎱 めざす学校像

- 〇仲間とともに協力して生活できる 学校
- 〇一人ひとりに居場所があり、個性を 活かして伸ばす学校
- ○安心・安全な教育環境が整備された
- ○地域に愛され、家庭や地域とともに 伸びる学校

校 訓

🤭) めざす生徒像

- ○自分の考えをもち、根拠を明確にして 思いを表現する生徒
- ○仲間と協働して、粘り強く課題を解決
- ○正しく考え、判断し、行動する生徒
- ○自分を大切にし、他者を思いやる生徒
- ○心身を鍛え、根気強く努力する生徒
- ○ふるさとを思い、地域に貢献し、自ら の生き方を考える生徒

めざす教師像

- ○感性が豊かで、生徒の心に寄り添える
- ○厳しさと優しさをもって生徒を伸ば し高める教師
- ○常に自己研鑽に努める意欲とチャレ ンジ精神のある教師
- ○生徒、保護者、地域に信頼される教師
- ○組織力と協働体制でものごとに取り 組む教師

チャレンジ目標

愛さつ、時間、思いやり

- 誠実、自主、創造 学 校 経 営 方 針
- 〇生徒・保護者・地域との信頼と敬愛を基盤とし、「愛、夢、志をはぐくむ教育」を推進することで、良き校風を継承するとともに特色ある学校
- 〇生徒が主役となって活躍できる環境を整え、支援することを通して、生徒一人ひとりの肯定感(自己肯定感、他者肯定感、地域肯定感)を醸成
- 〇すべての生徒の学びを保障し、生徒が主体的に学びを深めていける授業づくりを推進する。
- 〇主任を中心として教職員の組織力を高め、チーム力を発揮することによって一致した方針のもとで課題解決や研修の充実を図る。
- 〇スクール・コミュニティを核とした地域とともにある学校づくりを推進する。

豊かな心の育成〜集団力を磨く〜

- ○道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間の充実
- ○生徒を伸ばす行事計画
- 〇小集団(班)を活用した集団づくり
- ○読書活動の充実

健やかな身体の育成~すべての生徒にとって居心地のよい学校・学年・学級づくり~

〇安心して学べる学校環境の整備

○校内支援体制の確立

〇不登校(不適応)生徒への対応「増やさない指導」へ

〇生徒指導力の向上

〇体力・運動能力等の向上

○小学校と連携した基本的生活習慣の確立

確かな学力の育成~すべての生徒の学びの保障~

重点的に育成をめざす資質・能力

課題解決能力

思いを表現する能力

コミュニケーション能力

思いやり・感謝の心

何ができるようになるか (学校教育の基本)

- 様々な見方・考え方を働かせながら、粘り強く課題に 取り組み、よりよい方法で解決する。
- 目的や場に応じた自己表現をする。
- ・ 多様な考えや立場を尊重し、他者と協働的に 活動する。

生徒の実態

- 〇明るく元気
- 〇素直
- ○感性が豊か
- ○集団力がある
- ●話し合い活動が苦手
- ●粘り強さに欠ける
- ●学力差が大きい

- 何が身についたか(学習評価を通じた学習指導の改善)
 - 3観点を見取るための単元計画の活用。
 - ・「めあて→課題の追究→振り返り」を意識した 授業づくり。
 - 振り返りの視点を明確にして、文章で書かせる。

何を学ぶか(教育課程の編成)

- 教科横断的な視点に立った資質・能力
- ·現代的課題(SDGs)
- ・生きて働く知識
- ・地域社会への貢献(コミュット)

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- 課題を自分ごととしてとらえ、主体的に学ぶ。
- 柳中スタイルを意識して、意見を交換する。
- 他者を尊重して学び合い、よりよいものを創 造する。

実施するために何が必要か(指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)

- 積極的な授業公開(ユニット型研修の充実)
- 校内研修の充実と全校体制での取組
- ・ タブレットの効果的活用(授業・家庭学習)
- ・業務改善(生徒、教職員のゆとり確保)
- 小中連携 スクール・コミュニティの推進

子どもの発達をどのように支援するか

- ・話し合い活動など資質・能力を発揮する場の設定
- ・学級・学年経営の充実(集団づくり)
- 生徒の困り感に寄り添ったきめ細やかな指導
- ・3年間を見通したキャリア教育の推進

スクール・コミュニティの推進~地域とともにある学校づくり~

- ○地域の方が気軽に立ち寄れる学校
- ○生徒のボランティア活動の推進

- ○地域の教育資源(ヒト、モノ、コト)の積極的活用
- ○積極的な広報活動